

## 熊谷学園 2-3 期 南京玉すだれクラブ(24回公演)報告

28.2.20:熊連協創立40周年記念芸能祭(熊谷市)

熊連協創立40周年記念芸能祭が9時30分から熊谷市文化センター大ホールで開催されました。熊谷学園2-3期からは2組出場しました。

昨年の続き今年も「南京玉すだれクラブ」から4人の仲間出演しました。

今年は全部で62組の出場で、我々の出番は61番目、実質的なトリで責任の重さを感じました。演技の始まる10時ころから雨が降り出し、観覧する人々の数が心配でしたが、出場者とその応援者を含め常時会場内には8割程度の方が確保され盛況でした。

4人のメンバーは午後1時30分会場ロビーに集まり、早速昨年購入した演技用の正装の着付けをして出番を待ちました。男性2人は、今まで和服を着る機会がほとんど無かったため最初は不安でしたが、2週間前からインターネットで着付けの方法をアクセスして猛勉強した結果、今日は難なくクリアし、正規の着付けをすることができました。

出番は午後3時50分頃で、それまで余裕の時間があり、ロビーで最後の練習と打ち合わせを行い本番に備えました。

司会者から「61番・南京玉すだれ」とアナウンスされ、栗原さん、根岸さん、村田、舛田さんの順に舞台に進み、「きよしのズンドコ節」の曲が流れ、玉すだれを使った舞が始まりました。会場からは曲に合わせた沢山の手拍子が鳴り響き、舞台と客席が一体となり、曲中の「きよし」という掛け声も聞かれ会場も大いに盛り上がりました。また会場内に、午前中発表した村田のコーラス仲間12、3名の女性から「ひろちゃん」という大きな掛け声でチョッピリ嬉しい気持ちになり、少し気が緩んだのか、チョットすだれの戻しが引っ掛かったアクシデントがあり反省、反省…。

熊連協芸能祭の行事について種々の意見を耳にします。その意味にはそれぞれの考えがあるかと思いますが、難しい事は横に置き、一時会員皆さんが一堂に集まり、一日互いの健康を確認し、楽しく過ごす事にその価値があるのではないのでしょうか。

来年は皆さんで参加しましょう。芸能祭最後の全員の「秩父音頭」も楽しかったですよ。



熊谷学園連協芸能祭

五月廿四日

